

## 先輩IMFエコノミストの声

「Japan-IMF スカラシップ・プログラムは、米国に留学し、IMFのインターンとして働く貴重な機会を与えてくれました。IMF という極めて知的な環境の中、経済学が政策策定の第一線でのように役立っているかを日々学んでいます。」

馬場千佳子氏  
(IMF エコノミスト)

「Japan-IMF スカラシップ・プログラムで、米国に留学し、IMFで夏季インターンシップに参加したことが、IMFでの現在のキャリアにつながっています。IMFでの仕事はチャレンジに満ちており、政策立案プロセスの最前線で仕事をしているという実感があります。」

山田浩之氏  
(IMF エコノミスト)

「Japan-IMF スカラシップ・プログラムは、米国で学び、夏季インターン研修を通じてIMFでの仕事を体験するという、素晴らしい機会を与えてくれました。非常に知的でプロ意識の高いIMFの職場環境は、そこで働く人を人間的に成長させてくれます。」

城野和子氏  
(IMF エコノミスト)

「IMFでの夏季インターン研修では、実際の政策議論に参加できたなど、貴重な経験を得ることができました。」

森山賢治氏  
(IMF エコノミスト)

## ■ 大学院プログラム

専攻はマクロ経済学が基本だが、IMFの業務分野と関連して国際経済、国際金融、国際財政、通貨経済、公共財政、労働経済等も認められている。博士号の取得には通常4年から5年を要する。最初の2年間で大半の履修科目を修了し、その後の期間を利用して研究、調査、卒論の準備に当てることになる。

※プログラムの詳細はIMFのホームページ  
[www.imf.org/external/np/ins/english/scholar.htm](http://www.imf.org/external/np/ins/english/scholar.htm)  
を参照のこと。

申請手続き並びに当プログラムに関しては、  
下記いずれかにお問い合わせ下さい。



Japan-IMF Scholarship Program  
Institute of International Education  
1400 K Street, N.W.  
Washington, DC 20005-2403 USA  
Phone: +1 202.326.7761 • Fax: +1 202.326.7642  
Email: [JapanIMFScholarship@iie.org](mailto:JapanIMFScholarship@iie.org)  
[www.iie.org/JISP](http://www.iie.org/JISP)

各大学奨学金担当部署 または



IEB国際教育企画 日本-IMFスカラーシップ募集担当  
〒180-0022 東京都武蔵野市境1-3-11  
Tel: 0422-54-5654 • Fax: 0422-26-8198  
Email: [jimf@ieb.co.jp](mailto:jimf@ieb.co.jp)  
[www.ieb.co.jp](http://www.ieb.co.jp)



IMFで働くための第一歩!

## JAPAN - IMF スカラシップ・プログラム

(JISP 奨学金)マクロ経済学博士号

2012-2014

JAPAN - IMF  
SCHOLARSHIP PROGRAM  
FOR ADVANCED STUDIES



## JAPAN-IMF スカラシップ・プログラム マクロ経済学博士号 2012-2014

Japan-IMF Scholarship Program for Advanced Studies  
日本政府による財政支援プログラム

本プログラムは、ワシントンDCの国際通貨基金 (IMF) で働く国際経済の実務エコノミストとして必要不可欠な応用マクロ経済学に精通した日本人の養成を目的とし、日本政府の財政支援のもと IMF Institute が米国においては Institute of International Education: IIE、日本国内においては国際教育企画: IEB の支援を受けて運営されている。本奨学金を受給して所期の課程を修了した者は、IMF エコノミストの採用試験を受け、合格した場合はオファーを受けることが義務付けられている。

### 出願期限 2012年1月31日必着

### 出願資格

- ▶ 日本国籍を有する者
- ▶ 2011年度学部4年生以上で、34歳になる前に博士号を取得できる見込みの者
- ▶ 北米等の主要大学院でマクロ経済学博士課程に出願中あるいは既に同課程1～2年次\*に在籍している者

\*例外的に、3年次に在籍している者に対して1年間の奨学金を付与することがある。

### 選考スケジュール

- ▶ 1次審査: 1～2月 応募資格及び申請書類の確認
- ▶ 日程調整: 2～4月 出願者に連絡し、面接日程決定
- ▶ 面接: 3～4月 面接実施(電話面接もあり得る)
- ▶ 選考発表: 4～5月 選考し、合格者を発表

### 奨学金

本奨学金は、大学院留学の前期2年間に必要な以下の経費を支給する。

- ▶ 学費全額
- ▶ 書籍費
- ▶ 医療保険
- ▶ 月々の生活費
- ▶ 特定の旅費

奨学金は博士課程の前期2年間を支援する。

### 採用人数

毎年7名まで



### 奨学金以外のメリット

- ▶ 受給初年度の学期直前にワシントンDCのIMFでオリエンテーションに参加
- ▶ 3年又は4年次終了後、ワシントンDCのIMFで10～13週間、有給の夏季インターンシップに参加(採用エコノミストの58%はインターンシップ経験者)

### Online出願の方法

1. Online願書は以下のアドレスからアクセス  
<https://apply.embark.com/student/iie/generic/10>
2. 願書以外に必要な付属書類と提出方法
  - ▶ 大学及び大学院(現役大学院生)の英文成績証明書 – スキャンしてonline申請書にアップロード
  - ▶ 博士課程申請書の写し(1つの大学院のみ) – スキャンしてonline申請書にアップロード
  - ▶ GREおよびTOEFLまたはIELTSのスコア  
TOEFLは受験地コード8401に指定又はIELTS同様郵便等でIIEに提出
  - ▶ 英文推薦状2通 – Online申請書にアップロードあるいは郵便などでIIEに提出

### Online出願上の留意点

自分のユーザIDとパスワードを登録し、必要に応じて何回でも作成作業を行うことができる。願書は1度のアクセスで完了する必要はないが、作業開始後40分で自動的にタイムアウトとなるので、できるだけ頻りにセーブすることが望ましい。

全てのテキストボックスには他のところで作成した文書をコピー&ペーストできる。テキストボックスへの書き込みは提供されているスペースが上限であることに留意すること。そのスペースを超えた文書は表示されないだけでなく印刷もできない。

ページの上右側角にあるPreviewボタンをクリックすることでPDF化された願書の記入済みページを見ることができる。元の画面に戻りたい場合は、PDF画面を閉じる。

※更なる詳細は

<http://www.iieb.co.jp/jp/imf/pdf/Application%20Guidelines.pdf>  
を参照のこと。